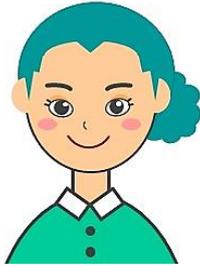


スマイリング Smiling

思いをカタチに とみに創る 笑顔の学校



横山地区 Co.



東郷地区 Co.



押切地区 Co.



三川中 Co.



統括 Co.

わたしたちが
コーディネートします！



指導主事

令和4年度三川町学校運営協議会がスタートしました

令和4年度第1回三川町学校運営協議会を6月2日に開催しました。

今年度、協議会の委員を務める方は、横山・東郷・押切の三小学校区が24名、三川中学校区が10名の34名です。新たに委員となった方はその中で11名です。三川町すべての小中学校で学校運営協議会（コミュニティ・スクール）が完全実施となります。

今年度は、年間4回（全体会2回、学校区2回）の協議会を予定しており、協議会の委員は、学校に足を運び子どもたちの様子を見ながら、学校や地域が抱える課題と向き合い

話し合いを重ねていきます。共通の熟議テーマを「子どものスポーツ・文化活動の素地をどう育てていくか」と設定し、部活動の地域移行についても話題としていきます。

令和4年度 /

共通の「熟議」テーマ

「子どものスポーツ・文化活動の
素地をどう育てるか」

学校運営方針は、すべての学校運営協議会で承認されました。

横山っ子ネットワーク協議会

○ 会長 = 庄司 睦子さん



(学校運営について)

- 個々の「よさ」を大事に、心の成長をめざす学校の方針に賛同。子どもたちへの目標の伝え方を大切にしてほしい。
- 早朝作業など、地域の協力を得て実施。

(学校課題について)

- コロナ禍で中断した学校行事には、「地域の力」が必要。同時に、この機会だから、子どもの興味関心にあった行事の再考をのぞむ。

おらほの学校づくり協議会

○ 会長 = 佐藤 功夫さん

(学校運営について)

- 学校目標の大きな改革を評価しながらも、2～3年子どもたちの様子を見ながら進めていただきたい。6年間の積み重ねを大切に。

(学校課題について)

- 相撲大会のあり方。伝統とアフターコロナでの行事運営についての難しさは理解できる。やれることをやる。無理せず気軽に。



こうふく押切っ子協議会

○ 会長 = 齋藤 悦子さん



(学校運営について)

- 自己肯定感を高める具体策。自分の意見が他者から認められているという雰囲気づくりが大切。頑張りを称賛する機会も多く取り入れる。

(学校課題について)

- 安全な通学路と下校指導。私道になっている箇所も多く、通学路の変更にあたっては課題も多い。見守りの目を増やすことが今後の課題。

三川中学校学校運営協議会

○ 会長 = 鈴木 重行さん

(学校運営について)

- ICT環境の整備。三川中は他校に比ベタタブレット等の活用環境は整っている。リモート授業への対応も、家庭の協力で進んでいる。
- 自己肯定感を育てるため、子ども同士で認める機会と自己決定の場を多くしたい。

(学校課題について)

- 制服の改定について。学校運営協議会でも課題として検討し協力していきたい。

